特集

新指定 重要文化財

野毛大塚古墳
――世田谷の中期古墳――

Thematic Exhibition
Newly Designated Important Cultural Properties:
Objects Excavated from Noge Otsuka Tumulus, Tokyo

2017年7月11日 火
▶9月10日 日

東京国立博物館
平成館企画展示室

July 11 – September 10, 2017
Thematic Exhibition Room, Heiseikan
Tokyo National Museum

野毛大塚古墳から出土した滑石製模造品
Steatite Models of Objects Excavated from Noge Otsuka Tumulus

東京都世田谷区にある野毛大塚古墳は、古墳時代中期（５世紀）に築造された全長82ｍの帆立貝形古墳です。四つある埋葬施設のうち、明治30年（1897）に箱形石棺（第２主体部）が発掘され、水を介した祭祀や、生産にかかわる祭祀に使用した滑石製の模造品が出土しました。

野毛大塚古墳は東日本の古墳の副葬品をみるうえで、高い学術的な価値をもっています。そのため、平成28年（2016）、世田谷区所蔵の遺物が重要文化財に指定されました。それに続いて本年、東京国立博物館所蔵の第２主体部出土品も、新たに重要文化財に指定されることになりました。

本特集を通じ、滑石製模造品を使った祭祀からみえてくる、古墳時代の人びとの願いを感じ取っていただければ幸いです。

Constructed in the 5th century during the Kofun period (ca. 3rd–7th century), Noge Otsuka tumulus in Tokyo is shaped like a scallop and is 82 meters in length. A stone coffin, which was unearthed in 1897, and steatite models of objects used for rituals involving water and those associated with the production of goods were unearthed from this tumulus. Because of their high academic value in the study of grave goods from eastern Japan, these objects were designated as Important Cultural Properties this year. We hope that these exhibits will shed light on how rituals were carried out in the mid-Kofun period.

水の祭祀

木器や鉄器、土器などの器物を、滑石という軟らかい石材でまねて作ったものが滑石製模造品です。古墳や祭祀遺跡からの出土が多く、さまざまな祭祀の場面で使われました。

滑石製槽①②は、木製の槽（水を濾過する導水施設の中心部）を、実物より小さくして、滑石で作った祭具です。滑石製下駄③は、木製の下駄を模造したものです。槽で清められた水を汚さないようにするために、祭祀の執行者が下駄を履いたとする説があります。滑石製坩④や滑石製皿⑤は、祭祀の際、飲食物を入れた土器や木器がモデルです。水の祭祀にかかわる滑石製模造品は、出土例が少なく大変貴重です。

①滑石製槽
Steatite Tub
長16.1cm
J-524

②滑石製槽
Steatite Tub
長13.5cm
J-523

③滑石製下駄
Steatite Clogs
左（表面）：長16.0cm
右（裏面）：長16.8cm
J-528

④滑石製坩
Steatite *Kan* Vessels
上：高3.6cm
下：高5.9cm
J-537、538

⑤滑石製皿
Steatite Dishes
左から：口径6.1cm、7.0cm、7.9cm
J-529～531

Column 1

これも重要文化財に！

第2主体部からは、滑石製模造品のほかにもさまざまな遺物が出土しています。武器（鉄刀、鉄剣）、装身具（瑪瑙勾玉、碧玉管玉、ガラス小玉）、円筒埴輪の破片⑨も、重要文化財に新たに指定されることになりました。

⑨円筒埴輪残欠
Fragment of Cylindrical *Haniwa* (Terracotta tomb object)
長5.9cm
J-2505

生産の祭祀

農工具の滑石製模造品は、古墳時代中期（５世紀）の近畿地方や関東地方を中心に普及します。滑石製斧⑥と滑石製鎌⑦は、柄を抜いた状態の斧や鎌の鉄製刃先がモデルで、滑石製刀子⑧は革製の鞘に納めた鉄製の刀子がモデルです。元の鎌は主に農具として、斧や刀子は木を加工する工具として用いられました。古墳時代の首長がこれら生産にかかわる祭具を使い、農業生産や手工業生産の繁栄を、神に願ったのかもしれません。

第２主体部では、精巧品から粗雑品まで、さまざまな形の滑石製刀子が232点以上も出土しています。一つの埋葬施設からの出土量としては、東日本で最も多い数です。

⑥滑石製斧
Steatite Adze
長6.3cm
J-512

⑦滑石製鎌
Steatite Sickle
長8.4cm
J-2501

⑧滑石製刀子
Steatite Knives
長5.7～9.0cm
J-490、491、498、499、2295、2320、2324、2343、2351、2356、2398、2403、2411、2430、2441、2443、2471、2472、2478、2480

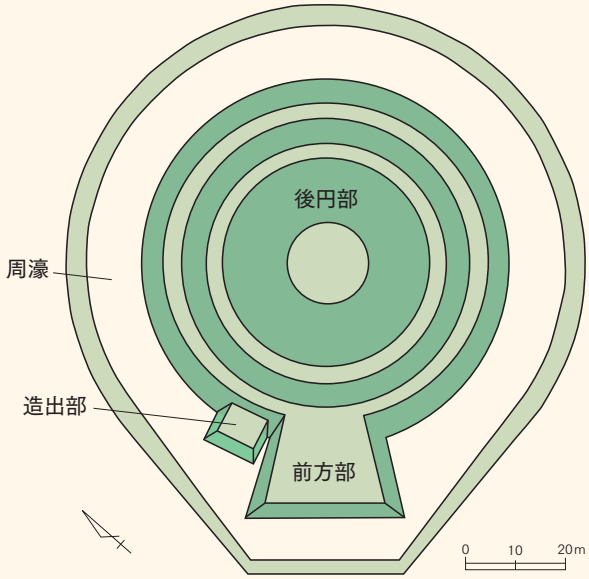
Column 2

多摩川左岸の古墳散策

多摩川左岸の台地上には、数多くの古墳が造られました。東京急行電鉄多摩川駅付近の多摩川台公園内には、宝莱山古墳（４世紀）や亀甲山古墳（４世紀）、多摩川台古墳群（６～７世紀）が保存されており、古墳展示室もあります。谷沢川沿いの等々力渓谷には等々力渓谷３号横穴（７世紀）があり、横穴内をガラス越しに見学できるようになっています。渓谷から西側に進むと野毛大塚古墳、東側には御岳山古墳（５世紀）があります。

野毛大塚古墳の墳丘

現在の野毛大塚古墳　　撮影：河野正訓



野毛大塚古墳の墳丘復元

世田谷区の閑静な住宅街の中に、野毛大塚古墳はあります。平成元年から平成４年（1989～1992）にかけて発掘調査がなされ、墳丘や埋葬施設の構造がわかって、近畿地方のヤマト王権との関係を示す数多くの遺物が出土しました。古墳は遺跡公園として整備され、古墳に登ることもできます。墳頂には埋葬された様子がわかるように、副葬品の出土状況を描いた埋葬施設の原寸大タイルが配置されています。

野毛大塚古墳は、帆立貝形をしています。後円部は３段、前方部は１段になっており、前方部脇には方形の造出部がつきます。各段のテラスには埴輪が配置され、斜面には多摩川の河原石を使った葺石が施されていました。墳丘の周りには馬蹄形の周濠が巡ります。関東地方では群馬県女体山古墳（全長106ｍ）や埼玉県雷電山古墳（全長86ｍ）に次ぐ規模であり、古墳に葬られた首長は、かなりの力をもっていたと考えられます。

野毛大塚古墳の埋葬施設

野毛大塚古墳の埋葬施設（主体部）は、全部で四つあります。古墳の後円部中央には、粘土槨につつまれた割竹形木棺（第１主体部）があり、これが最も大きな埋葬施設です。その東側には箱形石棺（第２主体部）、西側には箱形木棺（第３主体部）、さらに西側には木棺（第４主体部）が並び、第１→第３→第２→第４主体部の順で埋葬施設を設置したことが調査でわかりました。平成の発掘調査では、第１主体部と第３主体部から、古墳時代中期に特徴的な大量の鉄製武器・武具類が出土しました。

野毛大塚古墳の埋葬施設
一番右の石棺が第２主体部。
写真提供：世田谷区立郷土資料館

凡例
・掲載の遺物はすべて東京都世田谷区野毛大塚古墳出土。古墳時代・５世紀。重要文化財。
All archaeological objects featured in this pamphlet were excavated from the Noge Otsuka tumulus in Setagaya city, Tokyo.
They date back to the Kofun period in the 5th century, and are designated as Important Cultural Properties.
・東京国立博物館所蔵品には列品番号（所蔵番号）を付した。表紙の滑石製刀子には展示されないものも含まれている。

◆野毛大塚古墳を詳しく知るための主な文献

世田谷区教育委員会・野毛大塚古墳調査会『野毛大塚古墳』1999年
世田谷区教育委員会・世田谷区立郷土資料館『特別展 野毛大塚古墳の時代』2000年
大塚初重監修『東京の古墳を歩く』祥伝社新書 2010年
世田谷区立郷土資料館『野毛大塚古墳展』2016年

特集　新指定 重要文化財　野毛大塚古墳──世田谷の中期古墳──
2017年7月11日発行
執筆：河野正訓（東京国立博物館）
撮影：藤瀬雄輔（東京国立博物館）ほか
翻訳：君波妙子（東京国立博物館）
デザイン・制作・印刷：精興社
編集：東京国立博物館出版企画室
発行：東京国立博物館
©2017 東京国立博物館　Tokyo National Museum